



第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会 第4分科会「食べる おらほの食文化」

9月5日（日）

1. ロハス越前の取り組み
2. 農泊を支える食農の体験と食文化の継承
3. 広域連携の教育旅行受け入れと農泊
4. 地域に根ざした食の提供

ロハス越前 会長・株式会社ロハス越前 代表

田中滋子



ロハスとは？

■ **L o h a s**

**Lifestyles Of Health and
Sustainability**

健康で持続可能な生活スタイル

人間にも自然にも優しい暮らし

- ・エコな生活 よりはるかに壮大な思想

1.ロハス越前の取り組み

「いっぺんやってみよさ！」

- 平成15年「田んぼのオーナー」試行
- 予算なし、オーナー料金で実施
- 募集は京阪神・中京方面のマスコミに
チラシとお手紙送付
- 大阪の新聞社が記事掲載
「越前和紙の里で田んぼのオーナー募集」
- 大阪から問合せ・申し込み殺到！



田んぼのオーナーの田植え 地元の中学生たちの「田んぼの学校」と一緒に共同作業

農家民宿の始まり

一年目は八杉森林学習センターで、
夕食交流会後宿泊。

実はこのとき、「もし、農家に泊まりたい人がいたら、泊めてもらえますか？」とある農家さんに聞いてみた。

いいぞ！

泊めて朝ごはんだけやろ。そのかわり何のお構いもできんぞ！

こうして、1年目から農家にお客さんが宿泊。
これが農家民宿へのスタートとなる。



田植えの後、囲炉裏の堀田さんちで夕食交流会。郷土料理に舌鼓



ロハス越前の取り組み

都市農村交流

■ 東京いまだて物語

平成13年に始まった東京港区との事業

港区の廃校を貸し切って、現代美術今立紙展の作品展示、ワークショップ。紙漉きや墨流し、蒔絵の絵付け、そば打ちなどの体験を出前。併せて物産展を開催。

手織りや木工体験、米粉パンづくり体験などのプログラムも増え、また桂由美さんの和紙のドレスの展示やファッションショーなども開催。



都市農村交流の一環でスタート

- **東京いまだて物語**

こちらから出向いていくだけではなく、東京からも来てもらおう！

「雪山冒険隊」→「千年の森冒険隊」



合併後 「越前里地里山チャレンジ隊」

白山・坂口地区とも共催



千年の森冒険隊(現在は越前里 地里山チャレンジ隊)

■ 東京港区との連携事業

港区で子供たちを募集し2泊3日の体験旅行を実施

- 平成18年度は地元の子供も募集、地元発見ツアーと交流事業として実施。
- 植樹は地元自治振興会とタイアップし、地元住民100名近く参加
- 地元の納涼祭に参加



ザリガニつり



ビオトープつくり



川遊び



地域の納涼祭に参加



そば打ち体験



農家民宿で、蚊帳をつって



農家民宿でのんびり





2.農泊を支える食農体験、 食文化の継承

*もやいの郷・農楽園での体験受け入れ
ソーセージ作り・米粉パンやピザ作り・
田舎料理・かまど炊きご飯などなど、

□コミで

子ども会・女性会・学校の遠足・職場の
レクリエーションなどのご利用が増加







地域向けの食農教育

地元の子供たちが農業を知らない!!

- 都会のお客様を受け入れ、喜んでもらっている中で、地元の子供たちや若い人たちが農業を知らないことに気付く
- 後継者育成の第1歩は地元の子供たち

⇒今まで積み上げてきた事を発展させる

みそ作り→大豆の栽培から加工まで1年を通した取り組み

- 種まき、草取り・土寄せ、枝豆収穫、大豆収穫、
- 大豆加工体験（石うすできな粉挽き、打ち豆づくり、生湯葉づくり、味噌づくり）
- *小学校の授業とタイアップした教育ファームの取り組み
 - *現在3小学校と栽培から加工までの取り組み
 - *加工体験のみを2～3小学校へ出前講座

加工体験（丸一日の校外学習）





大豆づくしの給食



味噌づくり

ほんごさま料理を楽しむ会

- 行事としてはなくなってしまうが報恩講の際の「お斎（おとぎ）」で皆で作って食べた料理の継承





3.広域連携での教育旅行の受け入れ

- 面での受け入れ体制整備

一つの地域で1クラス(40人)くらい受け入れ可能な農家民宿と体験プログラムを構築

- 地域の魅力を深く発信

2日～3日滞在して農業や手わざの体験・田舎の暮らしやまち歩きをしてもらうことで、地域を深く知ってもらう。

- 将来の移住定住につなげる

Iターン・Jターンの候補地として、仕事としての農業や伝統産業の可能性を発信

台湾の高校生受け入れ

- 平成28年2月 農家民宿



JICE訪日団の受け入れ(台湾)

■ 平成28年7月 田んぼの体験



コロナ禍でも実現した 初めての国内からの修学旅行

- 10月13～14日 大阪府松原中学校



寝屋川第二中学校 農家民宿での体験





4.地域に根ざした食の提供

平成18年3月 ロハス越前の組織運営を担う収益事業としての米粉のパン工房を起業
ロハス越前の事務局を担いながら、米粉のパン、スイーツの販売と喫茶
部門を営業。

米粉のパン・菓子・ピザ・料理の体験も実施

平成28年11月 店舗移転「ロハスカふえ」として米粉の商品以外にランチも提供と仕出
しの許可をとった農家カフェとしての営業スタイルに転向

平成29年9月 さらに店舗移転店

中心市街地に市が整備した越前市出身の絵本作家かこさとしさんプロ
デュースの公園「だるまちゃんひろば」の一角の飲食施設にテナントと
して出店。

石窯(薪窯)を導入して米粉のピザの提供と体験を始める

令和2年4月 新型コロナの緊急事態宣言を受けて、テイクアウトメニューを充実
近隣住民のリピーター増加につながる。

令和2年9月以降 県内の小・中・高校の修学旅行、校外学習等の体験プログラムとして
ピザ焼き体験や総セージづくりなどの食体験が急増。







伝統料理や郷土料理だけではなく、素材を生かした様々な食の提供を目指している。だから、調味料にもこだわり、またSDGsの観点から、敢えて薪を使うことにもこだわっている。

新型コロナの影響を受け、都市部からの農泊も、体験も飲食もほとんどなくなってしまった1年半でした。

だからこそ、地元の方々に知っていただくこと、ご利用いただくことの大切さを改めて実感し、またリピートしていただけること、口コミしていただけることに、ただただ感謝しています。必ず次へのステップになると信じています。

ご静聴ありがとうございました。